



飛騨神だより

令和5年1月31日
発行 No.2
飛騨神岡高等学校



地元食材を使った

商品開発

11月14日、3年次生フードデザインの授業にて、田中料理教室の田中智枝さんを講師に迎え、生徒が考案した「えごま」と「トマト」のオリジナル料理を披露しました。

この日のために試作を重ね、相互評価をしあって改善を加えてきました。前回の料理講習会で学んだ知識や技術を活かした作品も多くありました。作り終えた生徒から、自分が考えて作った料理やお菓子について、田中さんの前でプレゼンテーションを行いました。

田中さんにはすべての料理を試食していただき、最後に生徒一人ひとりに向けて

講評をして頂きました。この料理のレシピを地域に発信していくなど取り組みを続けていききたいと思います。



KAGRA見学

11月15日に、KAGRAの先生方、研究生の方、事務職員の方々のご厚意により理工系の進路を考えている生徒を対象に、KAGRAのコントロールルームの見学と、先生方に研究者になるための講義をしていただきました。

宮川准教授には先生ご自身の高校生の時の様子や、経歴、どのように研究者になったかをプレゼンしていただいたほか、大橋教授によるアドバイスを富山大学などから出向して研究している大学院生からの貴重なお話も聞き取ることができ、生徒達の進路選択に大いに参考になりました。世界の最先端の研究に従事している先生方に非常に贅沢な進路指導をしていただきました。



ロボット出前授業

11月25日、連携型中学校である神岡中学校において、ロボット出前授業が行われました。これは、技術分野のコンピュータによる計測・制御に関連させ、ロボットの最新の動向や、コンピュータによる制御の例、AIについて本校工業技術系列職員(ロボット部顧問)が講義するものです。本校の二足歩行ロボットやSONYのaiboを動かした技術的な分野だけでなく、今後の我々の生活にロボットやAIがどのようにかわってくるかを説明しました。

後期 社会人講話から

本校では、生徒や職員の知見を広めることを目的に、年2回、各方面で活躍されている方をお招きし、社会人講話を実施しています。

12月1日、今年度2回目の社会人講話を実施しました。

講師は、株式会社ヒダカラ(飛騨市古川町)の共同代表である船坂



香菜子さん。『地域の魅力を見つけ輝かせる』飛騨で起業した私の3年目のチャレンジ』というテーマで、株式会社ヒダカラを起業し、飛騨市の魅力を全国に届けることをミッションにして、ネット販売、地元企業のネット販売支援、商品プロデュースなど幅広く活動されていること、高校生に向けては、まずは何でも失敗を恐れずやってみること、チャレンジすることの大切さなどをお話しいただきました。

生徒の感想には、『地域をよりよくしたいという気持ちに感動しました』『自分も進学後いろいろなことにチャレンジすることを大切にしたいと思いました』『自分もこれから悩むよりまずはたくさんのことにチャレンジして、たくさん失敗していろいろな経験を積んでいきたいと思いました』とあり、地域との関わり方や、高校生として、人としてどのように生きるか、改めて考える機会となりました。

神小6年生に

情報モラル講話

12月6日、飛騨市保小中高生徒指導研究協議会及び連携型中高一貫教育地域連携委員会の取り組みの一環として、中学校体験に参加している神岡小学校6年生及び保護者、神岡中学校1年生に向けて、本校のMSL(MSリーダーズ)代表2名が「正しく使おうインターネット」という演題で、オンラインゲームやSNSに潜む危険性SNSとの上手な付き合い方など情報モラルに関わる講話を行いました。



本校で行われた情報モラル講話の内容や、自分たちで調べた情報を元に、どうすれば小学生にわかりやすく伝えることができるか模索しながら準備を行ってきましたクイズや、小学生の興味のある内容を取り入れたことで、参加した児童も良い反応で最後まで集中して話を聞いてくれました。

中学生向け租税教室

もいい勉強になった。」「今、小中学生のほとんどがSNSを利用するため、SNSを通して起こる問題は身近になってきていると思う。小中学生にとってもいい機会だったと思う。」と感想を述べていました。

12月9日、本校ビジネス会計系列3年次生が神岡中学の3年生に租税教室を実施しました。

高山税務署の方の協力を仰ぎながら、授業の中で学習したことを生かしつつ、中学生が理解しやすいよう、図を多く取り入れたプレゼンテーションを製作し、生徒全員が分担して神岡中学校の3年生2クラスで講義を行いました。

クイズを取り入れるなど工夫を凝らし、1時間の授業の中では時折笑いも起きるなど、中学生にも楽しみながら学習をしてもらえた。また、

これによって本校の生徒自身もさらに理解を深めることができた。



総合的な探究の時間

発表会

今年度の3年次生の総合的な探究の時間は、

『地域×福祉』

『企業×飛騨神』

『地域×自然』

『地域活性×(公共)交通機関』

『地域×エネルギー×気象』

『地域×スポーツ×体力向上』

『地域×言語』

『雪の上をそりで滑ろう』

の全8テーマについて、取り組みできました。その成果発表会が1月23日に行われました。その中から、いくつかその内容を報告いたします。

『企業×飛騨神』

山口鐵工アウトドアブランド

「AZUMO」の新製品開発などに取り組みました。山口鐵工所を訪問し、鐵工所で可能な加工や現商品の説明を聞き、

山口鐵工所の技術を活かす

・これまでに商品化されていない

・自宅やお店で使える鉄板

・神岡の木工業の活性化や宣伝になること

というコンセプトで新しい商品

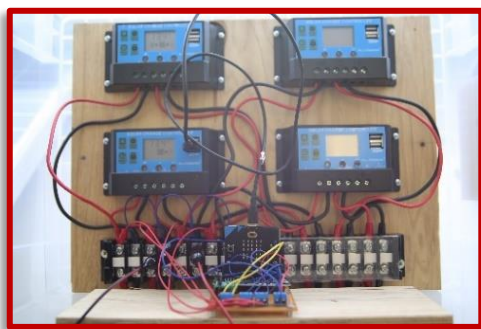
考えた結果、ステーキ皿を提案。C

で設計を行い、次年度以降の商品開発に引き継がれます。

『地域×エネルギー×気象』

空き家対策としてのモデルハウスの提案をテーマに、自然エネルギーを利用して発電について、取り組みました。

その中で、太陽光パネルの設置角による発電量の違いを計測し、積雪地域におけるパネル設置法について考察することとしました。その発電量計測には、自作制御回路とマイコンを用いるなど、工業技術系列の学びで得た高い専門性が活かされています。



制御回路と Micro:bit

スキー部、大活躍！

今年度もスキーシーズンが到来、今シーズンも本校スキー部員の活躍が期待されます。

1月9～13日、高山市ほのき平スキー場で行われた、第70回岐阜県高等学校総合体育大会スキー

競技会では、SL、GSとも軒並み優勝を含む上位入賞、全員が全国大会出場を決めました。また、男女とも総合優勝をはたしました。

【SL（回転）】

男子 優勝 村井 堅

2位 洞口誠吾

女子 優勝 谷口 綾

5位 細江友香

【GS（大回転）】

男子 優勝 村井 翔

2位 村井 堅

女子 優勝 谷口 綾

3位 細江友香

また、1月20日、高山市モンデウススキー場で行われた、国民体育大会冬季大会スキー競技会岐阜県予選でも、上位入賞し、国体出場を決めました。

今後の予定

【2月】

15日 考查一週間前

22～28 学年末考查

【3月】

1 卒業式

2～4 登校禁止（入試のため）

7～9 午前授業

17 合格発表

24 終業式・離任式・教材購入

27～4/7 春休み

学校長より

今年は雪の少ない冬かと思っていましたら、25日には、10数年に一度の寒波があり、臨時休校を余儀なくされました。それでも日に光が強くなり、いよいよ3年次生は卒業まで最後の定期試験を残すだけとなりました。部活動では、本号でお知らせしましたようにスキー部が県総体で男女とも団体優勝し、さらに全員がインターハイに出場の権利を得るという快挙を見せてくれました。進路でも国立大学合格者が出るなど確実に成果をあげています。

現在は本年度実施しましたさまざまな活動を総括し、次年度に向けてさらに地域の皆さんとの交流活動を深められるよう計画を進めております。

本年も飛騨神岡高校へご支援をよろしくお願いいたします。

岐阜県立飛騨神岡高等学校
飛騨市神岡町小萱2138番地2
tel:0578-82-1147 (代)
E-mail:c27341@gifu-net.ed.jp
Instagram: @hidakamigram



ホームページ



facebook